

# 富山型デイサービスの魅力について

指導教員：教授 境 美代子

## I. 目的

介護過程の授業で富山型デイサービスのDVDを視聴し、富山型デイサービスをもっと知りたいと興味をもち、また自分たちの将来の選択肢の一つになればよいと思い研究した。

## II. 富山型デイサービスの概要

富山型デイサービスとは、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に身近な地域でデイサービスを受けられる場所である。この富山型デイサービスは、平成5年7月に惣万佳代子さんと西村和美さんら三人の看護師が県内初の民間デイサービス事業所「このゆびとまれ」を創業したことから誕生した。そこから富山型デイサービスを富山から全国に発信され、平成29年には富山県に128か所・全国に2,138か所の施設を創設されている。

小規模で家庭的な雰囲気の中で、対象者を限定せず、地域の身近な場所でデイサービスを提供した「このゆびとまれ」は、既存の縦割り福祉にはない柔軟なサービスの形を作った。

## III. 方法

期間：令和2年11月4日・11日

対象：介護福祉専攻1年生9人・「このゆびとまれ」の介護福祉士の職員3名

調査方法：アンケート・ボランティア活動・口頭での質問

## IV. 結果

<介護福祉専攻1年生へのアンケート>

### 1. 富山型デイサービスについてのイメージ（自由記述）

いいイメージ

悪いイメージ

子供・障害者・高齢者が一緒に過ごせる

目が離せない状況が多い

社会性

地域ぐるみでの活動

アットホームな感じで楽しそう

個人の主張を尊重した行動

## 2. 富山型デイサービスに訪問したことあるか

ある1人	ない8人
------	------

富山型デイサービスに訪問したことある」と答えたのが1人で「ない」と答えたのが8人だった。その1人にいつ訪問したか尋ねると高校2年だった。感想は「ゆったりとした時間が流れていて過ごしやすい空間だった。」と答えた。

## 3. 介護過程の授業で視聴した富山型デイサービスのDVDをみて働きたいと思ったか？

思った9人	思わない0人
-------	--------

## 4. どうしてそう思ったか

もともと富山型デイサービスに興味があったから	楽しそうだから
利用者と一緒に何かを楽しそうにやっていていい所だと感じたから、利用者により深く仲良くなれそう	子供から高齢者までいろいろな人たちと関わりを持てるから
地域で活動している感じがいい	多くの方と関わるができるから
知識や技術が広がるから	

## 5. 富山型デイサービスの職員さんに聞いてみたいこと

- ・職員の数人は足りているか
- ・給料
- ・一番やりがいを感じる時は
- ・なぜ富山型デイサービスで働こうと思ったか
- ・仕事内容

### <職員さんのアンケート>

#### 1. 働く前と今の印象

変わった1人	変わっていない2人
--------	-----------

「働く前と今の印象は変わった」か尋ねると「変わった」が1人・「変わっていない」が2人だった。「変わった」と回答した理由は、「幅広い年代・障害・疾患の方と関われるため、変化があり、楽しさもあるが、どの分野においても、専門性に欠けてしまい、個別のニーズにこたえることの難しさを感じた。」と答えた

#### 2. 仕事内容は自分のスキルにあっている

あっている2人	どちらともいえない1人	あっていない0人
---------	-------------	----------

### 3. 福祉系の学校を出た

出た3人	出していない0人
------	----------

### 4. 魅力・やりがい

- ・ 日常の中に小さな達成感がある
- ・ 利用者の能力や認知度等に合わせてゆったりとしたかわりができる
- ・ 流れ作業ではなく、責任をもってケアができる
- ・ 大家族
- ・ いろんな人がいるからこそ、毎日違った刺激があっっておもしろい
- ・ やりたい時にやりたいことを提供できる

### 5. 働こうと思ったきっかけ

- ・ 実習での体験
- ・ 保育士と介護士両方の夢を叶えられると思った

### 6. 学生にアドバイス

- ・ 施設の雰囲気と業務体制大事
- ・ 自分のスキルに合っており、人間関係も自分の精神面を支える上では大事
- ・ 自信をもって働いて
- ・ コミュニケーションが不可欠
- ・ 自分から心を開いて、実習目標を明確にして工夫して関わってみてください

### <ボランティアによる体験>

私たちは、ボランティア体験で子供たちや高齢者との交流・カラオケ大会・おやつ配りや配茶を行った。子供たちとは、トランプ・積み木・おままごと・折り紙や塗り絵などをして遊んだ。職員にも障害のある方がいて、見守りや清掃・学校から帰ってくる子供たちの出迎えを行っていた。

### V. 考察

介護福祉専攻1年生のアンケートから元のイメージとDVDをみての感想が一致していて、他の老人ホームとは違う雰囲気があると感じている人が多くいたと感じた。また、1年次の授業等では富山型デイサービスについて詳しく勉強していないせいか、マイナスのイメージがないと思われる。介護職員のアンケート結果では、業務内容が決まってないので、時間に縛られずゆったりと関われる。また、やりがいと魅力につながると考える。私たちのボランティアを通して、明るく楽しい空間で和気あいあいとした雰囲気が感じられた。また、アットホームで決められたスケジュールがなく、障害の有無に関わらず子供からお年寄りまで楽しく過ごしており、障害のある職員さんも働いていたことに驚いた。

## VI. まとめ

今回富山型デイサービスについて理解を深めるためにボランティアを通して、仕事のやりがいと魅力について、介護福祉専攻1年と富山型デイサービスで働く介護職員に調査した。富山型デイサービスは障害の有無に関わらず、子供からお年寄りまで幅広い人が利用し、地域密着型の施設。事前にインターネットで調べた事と実際に体験したことが一緒に世代関係なく和気あいあいとした雰囲気を感じられた。

特別養護老人ホームや介護老人保健施設のデイサービスは、高齢者だけでコミュニケーションが中心だが富山型デイサービスは子供から高齢者までがいるので、コミュニケーションだけでなく、いろんな関わりができることが分かった。

富山型デイサービスは職員の人数が多いためゆったりと関わりができ、事故が少ないと感じた。

## VII. 参考文献

- ・富山型デイサービス「だっでもこられ」
- ・とやまの地域共生
- ・いろはにかいご
- ・安心介護